

憩いの家の指定管理者の選考結果について

横須賀市立憩いの家の指定管理者の公募を行った結果、2団体から応募があり、憩いの家指定管理者選考委員会での審査を経て、次のとおり指定管理者を選考しました。

1 施設の概要

指定管理者による管理対象施設は、既設の市立憩いの家とし、この施設の管理運営を行います。

名 称	横須賀市立憩いの家	
所 在 地	横須賀市公郷町6丁目1番地	
開設年月日	昭和50年4月1日	
敷 地 面 積	497.83 m ²	
構 造	木造平屋建て	
床 面 積	250.09 m ²	
施 設 内 容	<ul style="list-style-type: none">・作業室・リラックスコーナー・談話コーナー・ゲーム・まんがコーナー・卓球コーナー・和室・湯沸室・トイレ・事務室・倉庫・駐車場	
休 館 日	<ul style="list-style-type: none">・年末年始（12月29日～翌年の1月3日）・月曜日・国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に規定する休日 その日が月曜日にあたるときは、火曜日・指定管理者が市長の承認を得て臨時に定める日	

2 指定管理者が行う業務

- (1) 施設の使用許可及び取消しに関すること
- (2) 施設の運営及び設備の維持管理に関すること
- (3) その他市長が定める業務

3 施設の管理運営経費

対象施設の管理運営に係る経費は、全額指定管理料で賄うことと基本としています。

指定管理料は、市があらかじめ定めた上限額の範囲内で申請団体が提案しました。

4 公募から選考までの事務手続

指定管理者を指定しようとするときは、「憩いの家条例」第5条において公募により行うこととなっていますので、次のように事務手続を進めました。

選考委員会設置	令和7年4月1日
公募の周知	令和7年5月26日付 横須賀市公告第105号 令和7年6月1日発行「広報よこすか」に掲載 令和7年6月17日から「横須賀市ホームページ」に掲載
募集要項配布	令和7年6月16日～7月31日
説明会実施	令和7年6月30日 参加団体数2団体 申請書類、業務及び建物の仕様等について説明を行いました。
申請受付	令和7年7月25日～7月31日 期間中の申請 2団体
選考委員会開催	令和7年5月20日（第1回 募集要項等の内容決定） 令和7年10月2日（第2回 公開プレゼンテーション実施） 令和7年10月20日（第3回 選考団体の決定）

5 申請団体

申請のあった2団体の概要については次のとおりです。

No.	1	2
団 体 名	株式会社キャリエ・レゾ	一般財団法人 シティサポートよこすか
所 在 地	横須賀市	横須賀市
団 体 の 形 態	株式会社	一般財団法人
代 表 者	代表取締役社長 峯尾 直美	代表理事 竹内 英樹
資 本 金	21 百万円	30 百万円
従 業 員 数	84 人	243 人
団 体 の 設 立 年 月	平成 10 年 7 月	昭和 30 年 9 月
業種(主な業務内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムサービス業 ・電気通信工事業 ・総合人材派遣業 ・施設管理業 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営管理事業 ・環境整備事業 ・横須賀市から委託された事業等
同種又は類似施設の 管 理 運 営 実 績	同種の施設の管理実績がある（指定管理者としての管理実績がある場合を除く）または施設の種類は異なるが、指定管理者としての管理実績がある。	指定管理者として同種施設の管理実績がある。

6 指定管理者の選考

(1) 選考方法

申請団体の審査選考にあたっては、外部委員3名及び内部委員2名の次の5名からなる選考委員会を設置し、選考委員が各申請団体の提出書類及び公開プレゼンテーション結果に基づいて審査を実施しました。

区分	氏名	役職・所属
委員長	手塚 明美	特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構理事長
委員	岩本 育	本郷町内会会长
委員	二本木 佳代子	衣笠第二地区民生委員児童委員協議会 副会長
委員	清水 佳子	民生局福祉こども部福祉総務課長
委員	藤原 一葉	民生局地域支援部衣笠行政センター館長

(2) 評価基準及び配点

審査にあたっては、「憩いの家条例」第7条に定める基準をもとに、次の評価項目及びその配点を設定し評価を行いました。

評価項目	配点
基礎項目評価	150点
提案評価	850点 (170点×5名)
(1) 法令遵守	50点 (10点×5名)
(2) 施設管理	50点 (10点×5名)
(3) 利用者への配慮	50点 (10点×5名)
(4) リスクへの対応	50点 (10点×5名)
(5) 障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮	50点 (10点×5名)
(6) 地域貢献	50点 (10点×5名)

(7)	人員体制	50点 (10点×5名)
(8)	講座の実施	100点 (20点×5名)
(9)	施設利用促進の取り組み	100点 (20点×5名)
(10)	安全対策	100点 (20点×5名)
(11)	利用者への対応	100点 (20点×5名)
(12)	指定管理料	100点 (20点×5名)
合計		1,000点

合計 1,000 点 (150 点+170 点×選考委員 5 名)

※参考

「憩いの家置条例」第7条（指定管理者の指定）の基準

- (1) 住民の平等な利用が確保されること。
- (2) 事業計画書の内容が憩いの家の適切な維持及び管理を行うとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理及び業務を安定して行う物的能力及び人的能力を有していること。

7 選考団体

横須賀市小川町11番地

一般財団法人 シティサポートよこすか

代表理事 竹内 英樹

8 選考理由

基礎項目の評価や豊富な施設管理実績により、安定した運営が期待できる点に加え、地域団体や学校との幅広い連携、多世代が参加できる活動の充実、そして利用者への丁寧な対応といった地域密着型の提案内容が高く評価できたことから、選定しました。

なお、選考委員会による申請団体の評価の結果概要は別紙「指定管理者選考結果内訳」のとおりです。

9 指定期間

令和8年(2026年)4月1日から令和11年(2029年)3月31日まで

10 債務負担行為（収支計画）

債務負担行為額	33,164千円に消費税額及び地方消費税額を加算した額
---------	-----------------------------

(参考) 収支計画

指定管理料は現行の消費税額及び地方消費税額を加算した額

$$33,164\text{千円} \times 1.1 = 36,480\text{千円}$$

収 入

(単位：千円)

項目	8年度	9年度	10年度	計
指定管理料	11,880	12,160	12,440	36,480
その他収入	0	0	0	0
計	11,880	12,160	12,440	36,480

支 出

(単位：千円)

項目	8年度	9年度	10年度	計
人件費	6,854	7,390	7,724	21,968
事務費	2,253	2,312	2,371	6,936
委託費	429	442	455	1,326
その他経費	2,344	2,016	1,890	6,250
計	11,880	12,160	12,440	36,480

指定管理者選考結果内訳(憩いの家)

別紙

1 結果概要(得点/満点(得点率))

順位	1	2
団体名	一般財団法人 シティサポートよこすか	株式会社 キャリエ・レゾ
基礎項目評価	150/150 (100%)	115/150 (77%)
提案評価	535/850 (63%)	515/850 (61%)
合計	685/1,000 (69%)	630/1,000 (63%)

2 評価内訳

【1位】一般財団法人 シティサポートよこすか

指定管理料総額 33,164 千円(消費税額及び地方消費税額が加算されます。)

評価項目	得点/満点 (得点率)	選考委員会における主な意見
基礎項目評価	150/150 (100%)	
提案評価	535/850 (63%)	
(1)法令遵守	25/50 (50%)	・「コンプライアンス推進会議」の定期的な開催や、個人情報保護や情報公開をテーマにした職員研修の実施等、適切な運用が見込まれる。 ・個人情報保護、情報公開制度を適正に運用してきた実績は評価できる。
(2)施設管理	40/50 (80%)	・当該施設に加えて同種の施設の運営実績があり、施設管理において適切な対応が十分期待できる。 ・施設点検マニュアルの整備、利用者ニーズの的確な把握に向けた取り組みの水準は高いと推察される。
(3)利用者への配慮	25/50 (50%)	・利用者アンケート調査の実施や利用者目線を意識したチェック体制など、利用者の声を反映するしくみづくりを行っており、多様な利用者への具体的な配慮が考えられている。

(4)リスクへの対応	30/50 (60%)	・「緊急対応マニュアル」等が整備されており、全スタッフが普通救命講習を受講している等、日常のリスク対応策も講じられている。 ・近隣地域への防災対策にまで意識をしていることは大変評価できる。
(5)障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮	40/50 (80%)	・障害者雇用率を達成し、雇用の創出を含めた様々な障害者支援に取り組んでおり、他の分野においても相応の配慮が見込まれる。 ・法定障害者雇用率の達成や障害者団体支援の実績は高く評価できる。 ・男女共同参画及び多様な性への配慮に関して、組織として目標を立て、達成への努力と実績や、職員研修の実施などは、評価に値する。
(6)地域貢献	40/50 (80%)	・高校と連携した活動をはじめ、地域の子どもたちを対象にした活動を実施しており、幅広い分野における地域貢献が見込まれる。 ・これまでの具体的な取り組み事例・実績、提案などを踏まえ、町内会・自治会や地域団体との連携・協力などを念頭に置いた地域密着型のきめ細やかな地域貢献が期待できる。
(7)人員体制	25/50 (50%)	・法人全体での実績を生かし、経験者や資格者の適切な配置が期待される。近隣施設との人材交流なども期待するところである。 ・運営実績を踏まえ、概ね適切な人員体制が構築されていると推察する。
(8)講座の実施	70/100 (70%)	・幅広い地域ネットワークを駆使した、多世代に向けた講座の開催計画があり、当該施設の利用団体にも池上コミュニティセンターまつりでの活動発表の機会が設けられている。
(9)施設利用促進の取り組み	70/100 (70%)	・法人全体での実績を生かし、池上コミュニティセンターと連携したイベントや講座の実施、地域メディアとの連携等、利用促進の取り組みが期待できる。 ・利用者のちょっとしたお困りごとを相談という形で

		聞き取ることで、信頼性を確保し、利用の促進を図ことができると考えられる。
(10) 安全対策	60/100 (60%)	・法人としての台風災害等への経験を踏まえた緊急時体制の確立に加え、職員への安全教育等、日頃の事故防止や熱中症・感染症対策に取り組んでいる。
(11) 利用者への対応	60/100 (60%)	・クレーム・トラブル対応をはじめ、きめ細やかな利用者対応が期待でき、多世代の利用者に応じた日常的な心遣いが感じられる。
(12) 指定管理料	50/100 (50%)	・今後も物価高騰が予想される中、法人のスケルメリットを活用した消耗品費の削減は評価できる。 ・小破修繕等の即時対応についても利用者サービスの向上につながると考える。
合計	685/1,000 (69%)	

【2位】株式会社キャリエ・レゾ

指定管理料総額 27,090 千円(消費税額及び地方消費税額が加算されます。)

評価項目	得点/満点 (得点率)	選考委員会における主な意見
基礎項目評価	115/150 (77%)	
提案評価	515/850 (61%)	
(1) 法令遵守	25/50 (50%)	・全職員を対象とした研修や理解確認テストの実施など、法令遵守のための体制が整っている。
(2) 施設管理	35/50 (70%)	・同種施設の管理実績はないが、業務の効率化や省エネ対策等を取り入れた管理体制を構築している。 ・デジタル技術の利活用、環境負荷低減に向けた数値目標を取り入れた運営は先進的である。

(3)利用者への配慮	25/50 (50%)	<ul style="list-style-type: none"> ルールの明確化や利用者目線での環境整備、利用者の意見を聞き反映させる仕組みは評価できるが、地域運営協議会との連携や代表者による意見交換会の実施へのハードルは高いように感じる。 多様な利用者の特性に応じた対応策、不適切行為への段階的対応に期待したい。
(4)リスクへの対応	25/50 (50%)	<ul style="list-style-type: none"> 防犯・防災マニュアルが整備されており、訓練の実施やスタッフへの研修など、不測の事態へ対応するための具体的な取り組みを行っている。 リスク対応における PDCA サイクルの確立が期待できる。
(5)障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮	25/50 (50%)	<ul style="list-style-type: none"> 基準日時点で障害者雇用率は未達成だが、プレゼンテーション時に現在は達成していることが確認できており、男女共同参画や多様な性への配慮についても社内規定を整備していることを評価する。 法定障害者雇用率が一時的とはいえ未達成となる期間があつてはならないことで、今後一層の努力が求められる。
(6)地域貢献	25/50 (50%)	<ul style="list-style-type: none"> 地元人材の積極的な雇用に加え、市内の他団体との連携により地域の活性化が期待される。 幅広い分野の団体との連携、貢献の面的広がりが期待できる。
(7)人員体制	25/50 (50%)	<ul style="list-style-type: none"> 通常時の適正な職員配置に加えて、イベント等の臨時的人員の確保や外部監査要員等、人材派遣会社としての強みが期待できる。
(8)講座の実施	60/100 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者向けスマホ教室等の各年代に向けた企画があり、自社人材を講師として活用できる見込みがある。 ICT の強みを活かした新規の講座は現代的課題に即し、魅力的である。 今までにないアイディアが多く魅力的だが、当

		該施設の特性を鑑みると、実行に不安が残る。
(9)施設利用促進の取り組み	80/100 (80%)	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の利活用やIT関係の取り組みに強みがあると推察する。施設利用の在り方に具体性があり期待できる。 多世代が楽しめる魅力的な取り組みが多くあった。 世代交流を目的とした「教えあいの会」、全世代に向けた「アートの日」の開催に加え、屋外広告の設置やSNSでの発信等、幅広い層への施設の周知・利用促進が期待できる。
(10)安全対策	50/100 (50%)	<ul style="list-style-type: none"> 防犯・防災マニュアルの整備やそれに基づいた訓練・研修の実施等により、事故防止や災害への備え、感染症対策に取り組んでいる。 災害種別ごとに現実的な対策が講じられているか不明確である。
(11)利用者への対応	50/100 (50%)	<ul style="list-style-type: none"> 玄関スロープの通行スペース確保等の環境整備やセラピーロボットの設置検討など、多世代の利用者に向けた工夫が見られる。
(12)指定管理料	90/100 (90%)	<ul style="list-style-type: none"> 自社に在籍する有資格者の活用により講師料や施設管理費の削減が見込まれ、市民サービスへの有効活用が期待できる。 様々な経費削減計画により市民サービスの向上が見込める。
合計	630/1,000 (63%)	